

登録コード	HM248207	開講年度	2026				
授業題目	医療生命科学特別研究					担当教員	松本 竹久
英文授業名	Research Thesis (Doctor's) in Health and Medical Sciences					副担当	
単位数	6	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	医療生命科学ユニット／1～3年次
講義室			授業形態	演習	備考	必須科目	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄					(授業の達成目標)	
	2026HM保健学分野初, 2025HM保健学分野初, 2024HM保健学分野初, 2023HM保健学分野初						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					⇄	最新の研究と情報に基づき、生命科学の視点から医療と医学を理解し、異なる領域の知識を統合しながら、倫理的な観点を重視して医療の進歩に貢献する研究を推し進める能力を身につけることができるようになる。
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					⇄	医学および医療における課題の意義を認識する俯瞰力を身に付けることができるようになる。
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					⇄	専門領域を超えた多角的な視点から課題を分析し、新たな知見や技術を創造する応用力を身に付けることができるようになる。
(2)詳細 /Detailed information	・医学系諸科学における学識と情報収集能力・分析能力, 研究技術を備えており, 共同もしくは単独で, それぞれの分野における諸課題を解決できる。 ・保健学の学問体系の確立と発展に寄与し, 学際的研究を積極的に推進することにより, 世界に向けてその成果を発信できる。 ・感染症におけるヒトと宿主の相互関係, 診断・治療に必要とされる知識を深める。診断治療のための分子生物学的研究を遂行できる。 ・感染症学／臨床微生物学に関するテーマにそって研究を行うことにより健康基礎科学の高度な専門知識と研究・開発能力を獲得する。また, その成果を発表し, 博士論文としてまとめる。 ・臨牀に貢献できる研究を自ら立案し, 計画を立て効率よく遂行することができる。 ・研究内容及び研究成果をわかりやすくプレゼンテーションできる能力を養う。						
(3)授業の概要 /Overview of course	感染症の根幹をなす宿主・寄生体関係の概念に基づいた臨床実践に有益な研究を遂行します。世界的拡散が懸念される薬剤耐性菌について, 耐性機構の研究ならびに医療関連感染防止に関する研究を通じて分子生物学的アプローチを学びます。 本研究は担当教員の医療生命科学研究における実務経験を生かし指導を行います。						
(4)授業計画 /Course plan	1) 研究テーマにそって文献調査および予備実験のデータを踏まえて実験計画を立てる。 2) 計画にそって実験および調査を実施する。 3) 実験や調査結果をまとめ, その結果を評価・考察する。 以上のような研究サイクルによって研究テーマを発展させる。 その成果を学会等において発表し, 最終的には原著論文としてまとめる。 教員は, 討論および研究方法の助言を通して研究推進をサポートする。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	【成績評価の方法】研究課題に対する中間レポートおよび最終レポートにより以下の基準に従って評価する。 【成績評価の基準】(i)問題の設定が適切である。(ii) その問題の背景を説明できている。(iii)その問題にどのような課題があるのかを指摘できている。(iv)それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できている。(v)その上で自分の見解を提示できている。(vi)教員を感心させるレベルにある。(i)から(vi)の6項目を満たしていれば「卓越している(秀)」。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」, 4項目までできていれば「やや上にある(良)」, 3項目までできていれば「合格水準にある(可)」 研究への取り組み(研究遂行・文献検索等を含め)状況, 結果のプレゼンテーションやまとめ方, 結果に対する考察内容について総合的に評価する。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	研究の進展状況について随時報告を受け, 今後の進め方について討議します。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時質問・相談を受け付け, 大学院生とのdiscussionを通じて主体的な解決法の発見へと導く。 連絡先: tmatsumoto@shinshu-u.ac.jp 中校舎3階 松本研究室						
(8)授業の形式 /Course format	研究課題に沿った総合討論						